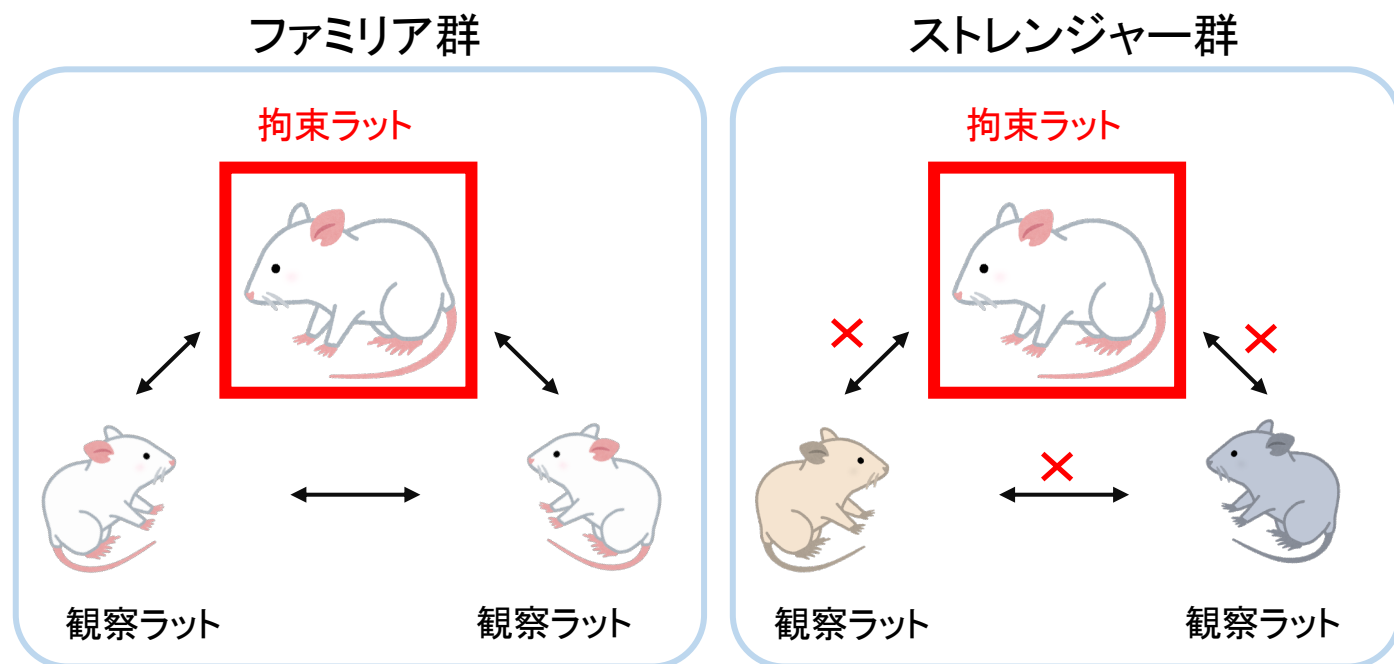


自由な他個体の存在下における拘束ストレスが不安様行動に及ぼす影響

行動生理学研究室 水原莉花子

ラットは自分のみが不利益な状況ではストレスが増すことが知られている。
周囲で自由にしているラットが**ケージメイト**である時と**見知らぬ同種**である場合、その反応は異なるか？



解析法

行動テスト

両者の不安様行動を探る
(ストレス・不安)

脳内神経活動

ストレスに関わる神経活動
(視床下部・扁桃体)

共感に関わる神経活動
(オキシトシン神経)

拘束ラットと観察ラットの中の共感性は？

*脳解析についてサンプル処理まで終了